しきなん

敷島南小学校

新型インフルエンザ まだまだ警戒！

外国で発生した新型インフルエンザウイルスの感染者数に減少傾向がなく、県内の小学校でも休校や学級閉鎖を行う所がなくなりません。敷島南小学校でも六年生二学級と三年生一学級で「学級閉鎖措置」を実施しました。

一方、山梨日々新聞社の報道では「山梨県は一〇月二八日、県内の新型インフルエンザの感染者が増加しているとして、『新型インフルエンザ流行発生注意報』を発令した。注意報発令は今シーズン初。県内四〇の定点医療機関から先週一週間（一九～二五日）の感染報告が平均一〇・七三人と、注意報発令の基準（一〇人）を超えたため。注意報は『４週間以内に大流行する』とされる目安で、感染が急速に広がる可能性が出てきた。」とのことでした。全国では既に「三八都道府県が注意報レベルに達し、北海道や愛知県は警報レベルまで感染が広がっている」そうです。

また、「一医療機関当たりの患者数は、保健所の管轄単位では富士・東部地域が二〇・二二人、中北一〇・七七人、峡東一〇・〇人、峡北四・三八人、峡南〇・六七人で、地域差が大きい。患者の約６割が一〇代で、若年層で感染が広がっている」とのことです。

学級閉鎖措置後の対策

インフルエンザ等の広がりを防ぐために取る学級閉鎖等に伴う授業の遅れを補うために、敷島南小学校では学校裁量の時間などを利用しています。一日前後の閉鎖措置は対応が容易ですが、数日となると色々と知恵を絞りながら遅れを取り戻す必要が出ます。特に三年二組の場合は四日間であったため、早朝に行う学級裁量の時間に数日間授業を実施します。それ以外に、一二月一一日（金）の一日だけですが六校時実施を予定しています。保護者の皆様には、色々な予定があることと思いますが、御理解御協力をお願いいたします。

「南小まつり」延期

秋に例年実施している「総合的な学習の時間」（三～六年）と「生活科」（一・二年）に取り組んだ成果を発表する機会として「南小まつり」を、今年度は一月二一日（木）学校開放日に延期して実施いたします。御存知のとおり、新型インフルエンザ感染拡大の様相が消えないために延期としました。しかし、一月～二月は通常のインフルエンザ流行期と重なるため、新型と従来のウイルスとが混在して思わぬ事態にならないとも限りません。学校でも児童の健康管理に十分注意しながら今後の状況を見極め、実施についての検討を重ねます。

保護者の皆様には、ぜひともお子様の日常生活への細かな気配りを僭越ながらお願いいたします。人ごみに出るときのマスク着用や帰宅時のうがい・手洗いを入念に行うよう御指導をお願いいたします。低学年に感染が拡大することを心配しています。

「国立感染研究所 感染情報センター」発

厚生労働省結核感染症課が取りまとめているインフルエンザ様疾患発生報告（http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infrepo rt/report.html）の二〇〇九/二〇一〇年シーズン第二報によると、四五週では全国で学級閉鎖学校数が一〇七六校、学年閉鎖学校数が三四〇六校、休校数が九七七校であった。休校数がわずかに増加したものの、学級閉鎖、学年閉鎖または休校のいずれかの措置を実施した学校数が二八週以降で初めて減少した。学級閉鎖学校数の増加が学年閉鎖学校数及び休校数と比べて顕著に増加していた。前シーズン（二〇〇八/二〇〇九年シーズン）との比較は高等学校の報告が本年二一週より加わったり、自治体により学級閉鎖等の基準を前年と異なる対応等をしていたりするため、十分な考慮が必要である。

指導主事を招いて研究授業を実施しています。

敷島南小学校では全職員が参加して校内研究を実施しています。校内研究は、授業の進め方を中心に取り組みますが、在校する児童の全面的な成長を考えた内容を研究しています。今年度は、これまで継続して発展させてきた国語や言語力の向上を意図的に仕組んだ授業の研究に取り組んでいます。また、校内の職員だけでは研究の方向や内容についての十分な評価が難しいため、県や市の教育委員会、各教科等の専門家に依頼し、指導主事をお招きして研修を深めています。

なお、研究時間に限りがあるため、今年度は、低中高学年に分かれ、全校統一研究目標の下に研究授業を実施しています。この他、月に一回程度の割合で中巨摩教育協議会が主催する「教科」と児童の日常の生活中心に研究する「問題別」研究にも参加しています。こちらは主に水曜日に県内各地に設けられた研究会場で、他校の教職員と交流しながら共同研究を行っています。

左写真は、一〇月一九日（月）三年二組担任相山教諭の研究授業です。最近では、一一月一一日（水）に六年主任竹之内教諭が社会科の研究授業をしました。

１０月５日（月）に雨宮智子さんをお招きしてＰＴＡ主催文化的行事「歌やお話」の講演を実施し、心に残る美しい歌声を聞きました。

10月19日（月）に３年２組で実施した研究授業です。この日は、山梨県教育委員会から小林正治指導主事と甲斐市から内藤和彦指導主事をお招きしました。

奥様が授業参観

昔の話で恐縮です。梨大教育学部の南の教会に、アメリカ人夫婦が素敵なステーションワゴンを乗り回しているのを眺めつつ小学生時代を過ごしました。今では、地球の反対側、イギリスで生まれたマイケル先生が、週二回授業しています。私たちの生活も豊かになり地球も狭くなったと思います。

さて、一一月二六日（木）に奥様同伴でマイケル先生が来校します。自分の授業を見せたいとか。先ずはお知らせまで。（文責：飯室）